

茅ヶ崎市 液状化ハザードマップ

液状化危険度 (PL値+土地条件)

本調査における液状化危険度は、地形や人工改変地の有無などから定まる「土地条件」と地質調査成果を用いた計算により求められる液状化危険度を示す「PL値」を組み合わせて評価しました。組合せによる評価は、以下に示す表のランクで示しており、凡例に示すランクと対応しています。例えば、土地条件による液状化危険度が「1」、PL値による液状化危険度が「1」となる地域は、液状化マップの凡例にある「ランク1」となります。また、PL値による液状化危険度ランクと土地条件による液状化危険度ランクが「4」になる地域においても、液状化が発生する可能性が0ではないため「液状化の可能性が低い」という表現を用いています。

神奈川県が公表している液状化危険度は上記のPL値のみで評価されたものであり、茅ヶ崎市では地質調査成果を詳細に分析するとともに「土地条件」を加味して液状化危険度を行っているため、神奈川県が公表している液状化危険度とは評価が異なります。

なお、この液状化危険度評価は、想定した地震が発生した場合に「液状化の可能性が高い」地域などで必ず液状化が発生することを示したものではありません。

PL値による液状化危険度

土地条件による液状化危険度	ランク	1 液状化の可能性 非常に大きい	2 液状化の可能性 大きい	3 液状化の可能性 小さい	4 液状化の可能性 なし
1	1	1	2	3	4
2	2	2	3	4	
3	3	3	4		
4	4	4			



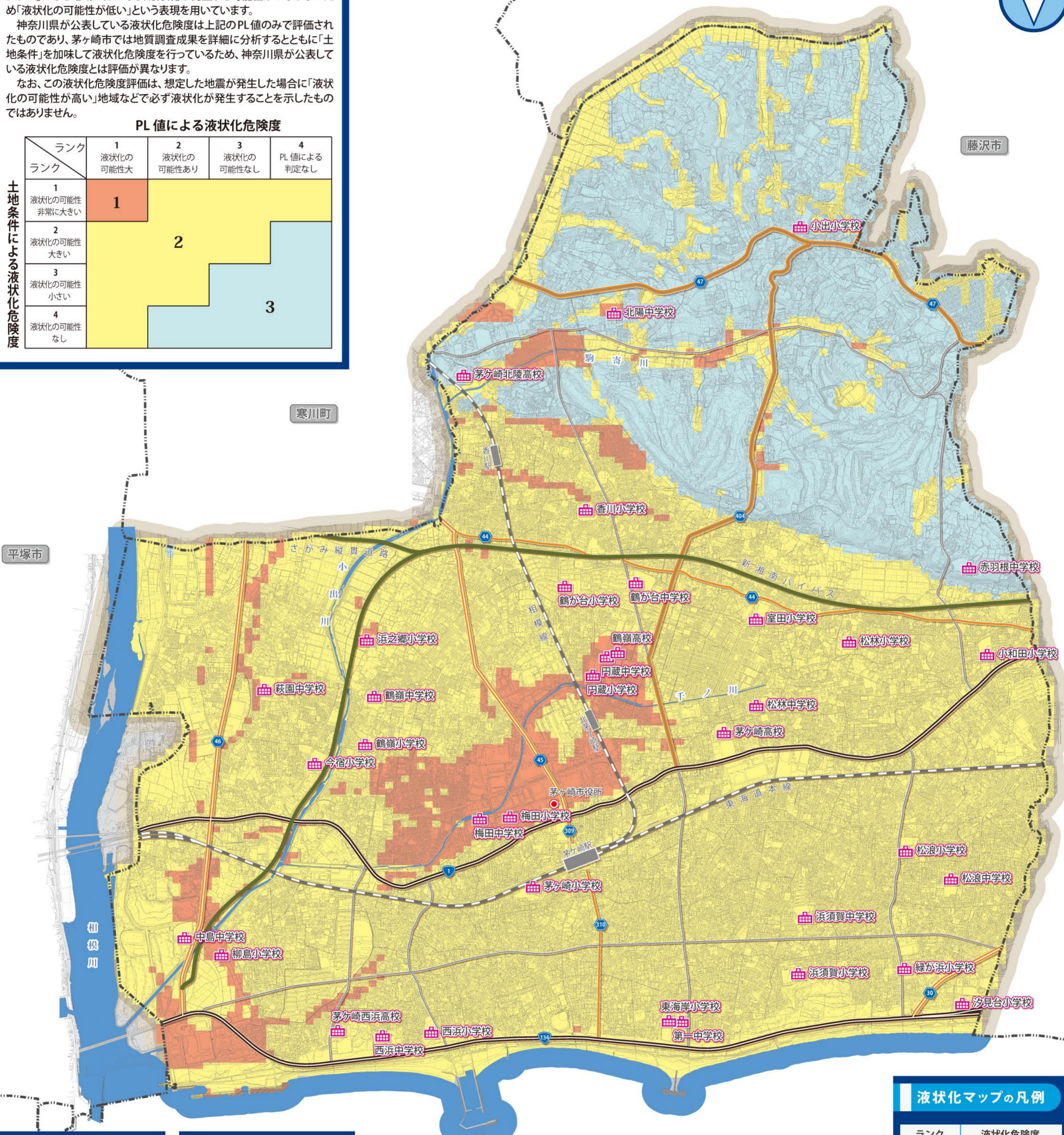
想定する地震

この面に記載した液状化危険度評価は、【南関東地震(大正型)】(マグニチュード7.9)が発生した場合の液状化危険度を評価したものです。茅ヶ崎市内の地質調査成果をもとに南関東地震が発生した場合の揺れやすさを想定するとともに、その揺れをもとにPL値を計算しています。南関東地震の揺れやすさはウラ面に記載しています。

①南関東地震(大正型)



南関東地震(大正型)は、フィリピン海プレートの沈み込みに伴って発生する海溝型の大地震で、1923年(大正12年)に発生した関東大震災の再来を想定したものです。



地図の凡例

- 学校 (School icon)
- 市役所 (City Office icon)
- 高速道路 (Expressway line)
- 鉄道 (Railroad line)
- 行政界 (Administrative boundary line)

道路の凡例

- 緊急輸送道路 (Emergency transport road)
- 補完路 (Complementary road)
- その他 (Other roads)
- 国道 (National road)
- 県道 (Prefectural road)
- その他 (Other roads)

緊急輸送道路とは

緊急輸送道路とは、災害時の応急対策活動に必要な緊急車両の円滑な通行の確保を図るため、県が指定した道路です。市では、防災拠点を結ぶ「緊急輸送道路を補完する道路」を指定しています。

液状化マップの凡例

ランク	液状化危険度
1	液状化の可能性が高い
2	液状化の可能性がある
3	液状化の可能性が低い

0 200 400 600 800 1000m